

# 著者略歴

## 藤田 晋輔 (ふじた しんすけ)

1939年 神奈川県横浜市生まれ。  
1961年 鹿児島大学農学部林学科卒業。  
1964年 京都大学大学院農学研究科修士課程（林学専攻、木材物理学）修了。  
1964年 島根県立島根農科大学林学科 助手。  
1967年 島根大学農学部林学科助手。  
1969年 静岡大学農学部林産学科助教授。  
1974年 農学博士（京都大学）。  
1980年 鹿児島大学農学部林学科助教授。  
1990年 鹿児島大学農学部生物環境学科教授。  
2004年 鹿児島大学を定年により退官。

現在は、鹿児島大学名誉教授、鹿児島大学客員教授（産学官連携推進機構）、株式会社鹿児島TLO取締役、木質炭化学会副会長等。  
公的活動としては、かごしまウッドテックフォーラム会長、鹿児島県木材利用推進協議会委員（鹿児島県）、鹿児島県技術アドバイザー、鹿児島県環境共生住宅指針策定委員会委員、林野庁木材産業技術実用化促進緊急対策事業試験調査委員会委員、鹿児島県森林審議会委員（会長）、鹿児島市都市計画審議会委員、経済産業省地域コンソシアム、BDF製造研究推進リーダー、文部科学省地域科学技術施策推進委員会専門委員、志布志市バイオマスタウン構想策定委員会（委員長）、志布志市環境審議会委員（会長）等多数。

専門分野は、木材物理学、地域資源環境学。  
現在の研究分野は、バイオマス資源の地域資源循環システムの構築、ゼロエミッションシステムの構築、屋久島に循環型社会システムを創る、より良い住環境を創生するために木炭・竹炭を利用する、木炭・竹炭の機能性材料としての創製と新規活用、等。  
主な受賞としては、1993年に第1回日本木材学会地域学術振興賞、2003年に国土交通省海上保安庁長官表彰。

主な著書として、新編木材工学（分担執筆、1985年、養賢堂）、木炭を生かす（1987年、日本住宅・木材技術センター）、木材材料学講座3物理（分担執筆、1992年、海青社）、同2組織と材質（分担執筆、1993年、海青社）、同8木質資源材料学（分担執筆、1993年、海青社）、廃棄物の炭化処理と有効利用（分担執筆、2001年、NTS）、放送大学大学院「環境工学」（分担執筆、2003年、放送教育振興会）、ゼロエミッション屋久島プロジェクト（共著、2003年、海象社）、鹿児島大学植物園の樹木たち（共著、2003年、鹿児島TLO）、職業と実践（共著、2004年、鹿児島学術文化出版）、炭・木竹酢液の用語辞典（分担執筆、2007年）等。

上記の現職は著書発行年月日現在のものです。